

旧規則機残り約107万台

求められる不要台の早期排出

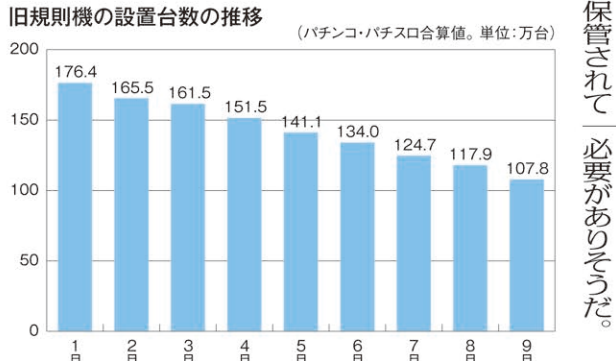
9月末時点における21世紀会決議に基づく新規規則機設置比率の進捗結果「9月末時点」

世紀会決議に基づく新規規則機設置比率の進捗状況によると、新規規則機の設置割合はパチンコが80.0%、パチスロが60.0%、パチスロが28.12万台に62.6万台増加した。当初目標としていた9月末時点での設置比率80.0%には届かなかった。1月末時点から9月末時点までの累計台数であるパチンコは142.2万台、パチスロは107.8万台に増加した。

旧規則機の残数である9月末時点でのパチンコは約47.1万台増加、パチスロは約15.5万台増加、パチンコ・パチスロ合計では218.6万台から281.2万台に62.6万台増加した。このうち、9月末時点でのパチンコは約47.1万台増加、パチスロは約15.5万台増加、パチンコ・パチスロ合計では218.6万台から281.2万台に62.6万台増加した。このうち、9月末時点でのパチンコは約47.1万台増加、パチスロは約15.5万台増加、パチンコ・パチスロ合計では218.6万台から281.2万台に62.6万台増加した。

新規規則機設置状況(全国・都道府県別)

都道府県	パチンコ	パチスロ	全体
1 北海道	78.7%	63.1%	72.5%
2 青森県	80.1%	62.4%	73.9%
3 岩手県	82.0%	59.4%	74.4%
4 宮城県	78.6%	60.3%	72.0%
5 秋田県	81.7%	66.8%	76.7%
6 山形県	82.4%	66.6%	76.4%
7 福島県	80.9%	62.5%	74.3%
8 茨城県	80.4%	57.1%	70.6%
9 栃木県	83.0%	64.3%	75.5%
10 群馬県	85.7%	69.5%	79.4%
11 埼玉県	78.6%	60.9%	71.4%
12 千葉県	81.2%	61.0%	73.3%
13 東京都	81.1%	59.7%	72.0%
14 神奈川県	81.9%	63.3%	74.5%
15 新潟県	77.0%	54.6%	68.6%
16 富山県	85.1%	63.6%	77.4%
17 石川県	81.3%	62.1%	74.0%
18 福井県	83.7%	64.4%	77.0%
19 山梨県	77.3%	62.5%	72.3%
20 長野県	81.5%	59.9%	73.7%
21 岐阜県	81.9%	55.0%	71.7%
22 静岡県	76.3%	60.8%	70.2%
23 愛知県	79.2%	56.0%	70.1%
24 三重県	79.6%	55.6%	71.0%
25 滋賀県	82.6%	65.5%	75.8%
26 京都府	77.3%	57.1%	69.5%
27 大阪府	77.5%	58.3%	70.7%
28 兵庫県	80.5%	63.0%	73.3%
29 奈良県	76.4%	60.4%	70.8%
30 和歌山県	78.4%	59.2%	71.5%
31 鳥取県	75.8%	55.4%	66.5%
32 島根県	78.2%	57.3%	69.4%
33 岡山県	81.3%	58.8%	70.8%
34 広島県	78.1%	58.0%	68.9%
35 山口県	81.5%	61.9%	73.5%
36 徳島県	83.4%	64.7%	76.4%
37 香川県	79.8%	62.7%	73.1%
38 愛媛県	78.0%	57.7%	69.6%
39 高知県	82.0%	63.8%	76.2%
40 福岡県	78.4%	58.5%	70.1%
41 佐賀県	77.3%	60.8%	70.9%
42 長崎県	80.6%	62.6%	73.5%
43 熊本県	81.6%	59.5%	73.6%
44 大分県	79.7%	60.7%	72.4%
45 宮崎県	82.7%	63.0%	75.8%
46 鹿児島県	83.0%	62.0%	76.1%
47 沖縄県	82.5%	34.6%	53.5%
合計	約80.0%	約60.2%	約72.2%



管しきれなくなった使用済み遊技機が屋外に野積みされ、社会問題化している。そのためにも不要台を早期に処理会社に排出して大量撤去に備えて倉庫を空ける準備をする必要がある。

コミュニケーションで信頼構築

「123+N羽曳野店(大阪府羽曳野市) 羽曳野市が7月1日、ランドリニューアルした。開業から17年を経て初の大改装。市内最大級を誇る総台数1235台の大型店にはコロナ禍前の賑わいが戻りつつある。

地域密着大型店がリニューアル

西日本を中心に関東でも「123」の屋号で68店舗を展開する延田グループの大型店「123+N羽曳野店(総台数1235台パチンコ792台、パチスロ443台)が17年前のランドリニューアル以来初となる大改装を終え、7月1日にランドリニューアルオープンした。

ホール最前線



平日でも高い稼働を続けるパチンコ人気機種コーナー

客席同士も仲が良く、和やかな明るいホールの雰囲気をつくってくださっています」と話す。

開店前の入場抽選時には必ず江州店長がお客と挨拶する。常連のお客とは当たり障りのない会話の中から営業のヒントを見つけていることが多いという。ただ、周りから見ると

しずる印象にならないよう注意は怠らない。「常連は年配の方が多く、私たちが子どもや孫のように接してくだる方もいます。コロナ禍ということもありお互いの体調の話題が多く、これをお客様の声として汲み上げ、新規で空気清浄機を導入し、快適な環境を提供しています。

「リニューアルオープン後はコロナ禍の前2019年頃の稼働に戻りつつある。当店は12000台を超える大型店ですが、地域密着型で地道に続けてきたことが奏功しています。特に週末は多くの常連のお客様に加え、遠方から来店されるお客様も増えています。営業手法での集客は簡単かもしれませんが、一過性で終わってしまうようなお客様が続くことがないよう、お客様が喜んでいる様子を見ながら、営業施策をアップデートしていきたいですね(江州店長)

RSN 8月の電話相談296件

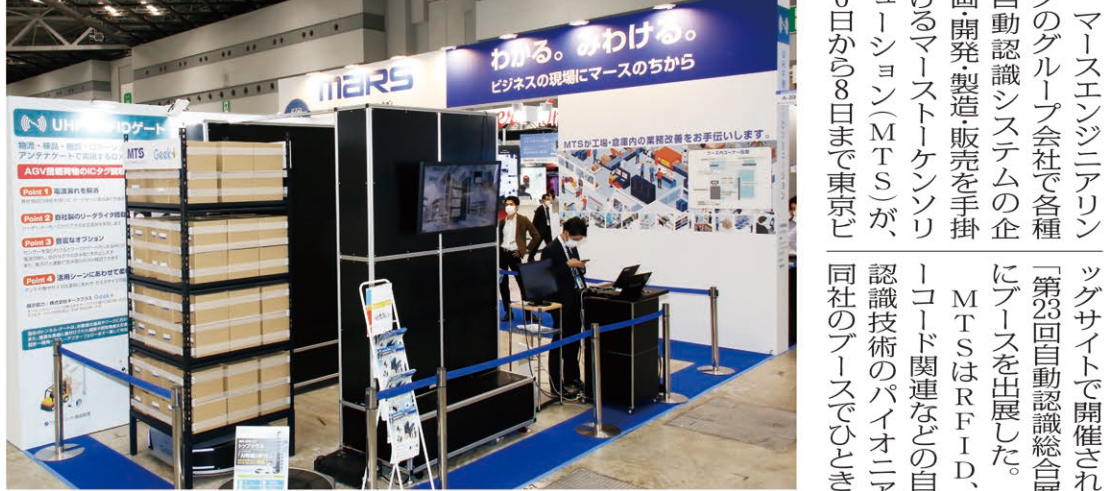
ばちんこ依存問題相談機関リカバリー・サポート・ネットワーク(RSN)が8月に受けた電話相談は296件で、前月の月40件増加した。このうち初めての電話である初回相談は130件(44%)。初回相談の内訳はパチンコ・パチスロ

日遊協人材育成委員会 女性社員が企画づくり 女性活躍推進フォーラム

日本遊技関連事業協会の人材育成委員会は9月30日今年度初開催となる「女性活躍推進フォーラム第1回」をオンラインで開催した。委員を含む参加者は19社31人、セミナー受講後6グループに分かれてディスカッションに取り組み。冒頭では羽山雄二副委員長(善都が経営)が「当社は交流する機会がなかなかない他社の方と一つの目的に向かっている貴重な場。みなさんの成長が各社の成長につながるよう、実り多いものにしてほしい」とコメントした。

先進の自動認識技術を展示

従業員を守る検温ソリューションも出品



驚異の読取率を実現した「UHF帯RFIDゲート」

「MARS」は、自動認識技術の企業。自動認識システムの企画開発・製造・販売を手掛ける。MARSはRFID、バーコード、顔認識などの自動認識技術のバイオニア。同社のブースでは、6日から8日まで東京

「MARS」は、自動認識技術の企業。自動認識システムの企画開発・製造・販売を手掛ける。MARSはRFID、バーコード、顔認識などの自動認識技術のバイオニア。同社のブースでは、6日から8日まで東京

新作タイトルを世界に発信

初のバーチャル会場も



注目の新作タイトルを試遊できたセガ・アトラスのブース

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会が主催するアジア最大のゲームイベント「東京ゲームショウ2021 オンライン」(以下、TGS)が9月30日から10月3日まで開催された。今年は初めてVR会場をオープンしたほか、プレス関係者とインフルエンサー向けに試遊できるオフライン会場を募集メッセに用意した。

国内外の351社が、TGS初のバーチャル会場「東京ゲームショウ2021」に出展した。4日間、東京ゲームショウ2021ではVR、英語や中国語のガイドなしに、PCやスマートフォンからアクセスできる。セガ・アトラスは、最新の「Lost Judgment」を、裁かれざる記憶の試遊アースを、設置。木村さん演じる主人公八神隆之の冒険、ハジメたアースを展開した。そのほか、真・女神転生シリーズのナンバリング最新作「女神転生IV」を、爆発的ヒットを記録した「鬼滅の刃」の最新ゲームも、試遊可能。

カジノ産業に関する誤報の蔓延

The Latest Trends in CASINO INDUSTRY カジノ研究者の視点 第97回

やと緊急事態宣言が明けた我が国であるが、それより半年早くコロナ禍から明けの米国では、すでにカジノ産業が活況を呈している。米国の最大のカジノ都市・ラスベガスにあるネバダ州の8月のゲーム売上は10億ドル(約1133億円)を超え、コロナ禍発生前の2019年同月を6カ月連続で超える売上を記録した。アメリカ全体のカジノ売上は、7月のゲーム売上を2019年同月を32%も上回る492億ドル(約574億円)となり、史上最高額に達する状況となっている。

アメリカ国内の各種の行動制限が解除されたとはいえない。未だ国際観光客の流入に制限がある状態である。この状況下では、もちろん長らく低迷した消費の「揺り戻し」の部分はあり、アメリカのカジノ産業は劇的に回復している。

また、東京新聞は10月2日掲載の「IR誘致申請皮算用」に疑問符が付く。この疑問符は、二文載せるのが関の山だ。その一方で、このような間違った報道はウェブ上に残り、第三者に再度引用される。非常に悩ましい状況であるが、このコラムの場を借りて、もう一度間違った報道を指摘する発信もなされたい。「世界のカジノ産業は既に回復の途にある」といふ。

きそ・たかし 日本に数少ないカジノの専門研究者。バダ大学ラスベガス校ホテル経営学部首席卒業(カジノ経営学専攻)。米国大手カジノ事業者での会計監査職を経て帰国。2004年、エンタテインメントビジネス総合研究所設立。2011年、(株)国際カジノ研究所設立。



©隆慶一郎・原哲夫・麻生未央/NSP・1990, 版權許諾証 YSR-432

詳しくは、最寄りの支店・営業所または、担当の営業マンまでお問い合わせください。

